

## 新型コロナウイルス対応支援助成 事業計画

<b>申請事業名(主)</b>	Good Job! Project
<b>申請事業名(副)</b> <small>※任意</small>	障害福祉事業所の新規事業や新規参入の支援

入力数 主 17 字 副 20 字

<b>申請資金分配団体名</b>	一般財団法人たんぼの家
------------------	-------------

<b>休眠預金事業への採択/申請歴</b>	<input type="checkbox"/>	2019年度資金分配団体（通常枠）に採択	<input type="checkbox"/>	2020年度資金分配団体（通常枠）に採択	<input type="checkbox"/>	2020年度コロナ緊急助成資金分配団体に採択	<input type="checkbox"/>	2021年度資金分配団体（通常枠）に申請/採択	<input type="checkbox"/>	2021年度コロナ支援助成資金分配団体に採択
	<input type="checkbox"/>	2019年度実行団体（通常枠）に採択	<input type="checkbox"/>	2020年度実行団体（通常枠）に採択	<input type="checkbox"/>	2020年度コロナ緊急助成実行団体に採択	<input type="checkbox"/>	2021年度実行団体（通常枠）に申請/採択	<input type="checkbox"/>	2021年度コロナ支援助成実行団体に採択
	<input checked="" type="checkbox"/>	採択歴なし								

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

	領域	分野
<input type="checkbox"/>	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 1)-①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援
		<input type="checkbox"/> 1)-②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		<input type="checkbox"/> 1)-③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/>	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> 2)-④働くことが困難な人への支援
		<input checked="" type="checkbox"/> 2)-⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/>	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> 3)-⑥地域の働く場づくりの支援
		<input type="checkbox"/> 3)-⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>	
------------------------	--------------------------	--

入力数 0 字

<b>実施期間</b>	2021年12月 ~ 2022年11月	<b>事業 対象地域</b>	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> ( 東北、関東、東海、 関西、中国、四国、九州 )	<b>事業対象者： (助成で見込む 最終受益者)</b>	福祉事業所で働く障害のある人	<b>事業 対象者人 数</b>	300人
-------------	---------------------	--------------------	---	--------------------------------------	----------------	--------------------------	------

## I. 団体の社会的役割

### (1) 申請団体の目的

ソーシャルインクルージョンをテーマに、アートとケアの視点からさまざまな価値提案をしている市民団体。一人ひとりが個性や能力を発揮でき、他者との関係性のなかで成長ができ、生き方の選択肢を増やして幅をひろげるために、表現すること・学ぶこと・はたらくこと・ケアすること・交流することに関する事業を重層的に相乗的に行っている。

### (2) 申請団体の概要・事業内容等

1976年設立。市民による芸術文化活動と障害に対する社会認識を変革する活動「エイブル・アート・ムーブメント」を1995年から推進し、障害のある人の可能性や機会をつくり、地域とのつながりをひろげている。2013年から障害のある人と協働で新たなしごとをつくる「Good Job!プロジェクト」を推進し、伝統工芸やテクノロジーなどを先進的に取り入れる事業所とネットワークを組みながら調査研究・発信・相談支援を展開している。

入力数 (1) 158 字 (2) 208 字

## II. 事業の背景・社会課題

### 新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題

障害のある人の就労機会は少なく、所得が低いという社会課題がコロナ禍によって深刻化している。たとえば、きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）が2020年7月10日～16日に調査した結果によると、348カ所の事業所のうち81%の事業所が前年同月で43%減収している。これにともない障害のある人たちの工賃（1ヵ月の賃金）は平均11,302円と非常に少なくなっている。さらに2021年6月9日～7月7日にも調査がおこなわれ、535カ所の事業所のうち59.6%がコロナ禍以前よりも減収しており、継続的に悪影響を受けている。特に食品加工、飲食、清掃などの業種は軒並み低下している。要因としては、得意先である企業の売上の減少、休業や営業自粛、イベントの中止、パン販売やカフェなど縮小営業や客足減少が大きく影響している。これらの悪影響を解決するためのNPOの活動は、対面や地域との協力関係を必要とするがゆえに活動が困難になっていることも特有の課題である。障害のある人自身への悪影響もあり、売上減のため出勤を控えさせられたり、コロナの不安から外出困難になったりと、働きたくても働けない人も増えている。せっかく積み上げた就労に関するスキルが仕事を休むことで低下することも好ましくなく早急に対策が必要である。一般財団法人たんぼの家は2020年11月からコロナ禍における仕事づくりの好事例を調査・研究してきた【STEP 1】。これらを参考に、今だからこそ新規事業のスタートや、今後に向けて持続可能な就労機会の創出の支援の必要がある【STEP 2】。そして将来的には、農業や漁業、製造業やサービス業など、さまざまな分野の障害福祉事業所が、企業、地域の店舗、大学や研究機関、医療機関や支援センター、行政、NPOなど新しい関係性を生みだし、障害のある人の仕事の選択肢と所得を増やすことを支援する必要がある【STEP 3】。

入力数 799 字

### III.申請事業

#### (1)申請事業の概要

障害のある人の仕事をつくるために、新規のプロジェクトや草案、新たな販売先や販売方法、共同受発注等の整備などを考えている実行団体に対し支援を行う。具体的には、実行団体の企画会議のファシリテーションと、企画内容の遂行にむけた準備を支援する。また、実行団体が互いに意見交換し、ときには専門家を招いて企画内容をブラッシュアップする。コロナに関しては第6波も予想されるため、感染者や濃厚接触者がでた場合も、受発注への共同対応、オンラインによる合同面談、利用者（障害のある人）のフォローなど対策を支援する。また、福祉事業所として新たに参入する場合は、利用者のサポート方法や利用者確保の支援も行う。

入力数 293 字

#### (2)活動(資金支援) (実行団体の活動想定)

##### 時期

①福祉事業所が新規プロジェクトを立ち上げる。

2022年11月

②福祉事業所が市場を広げるために、製造業の生産性を向上させ、販売をさらに促進する。

2022年11月

③福祉事業所が飲食店などの場合、店頭販売から、宅配やドライブスルー等への業態転換を図る。(併用を含む)

2022年11月

④福祉事業所が創作環境を整え、障害のある人のアートを活かした事業に参入する。

2022年11月

#### (3)活動 (資金分配団体による伴走支援)

##### 時期

・事前評価・中間評価・事後評価のサポート、月1回の事業実施に関する助言

2021年12月~2022年11月

・参入したい好事例の経営スタイルなどの情報提供

2021年12月~2022年11月

・業態転換やアート活動参入等へのコンサルティング(実行団体と専門家による研究会、実行団体内の企画会議)

2021年12月~2022年4月

・感染対策や感染者がでたときの支援

2021年12月~2022年11月

(4) 今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
①福祉事業所が新規事業開始の準備ができている ②市場が拡大されている	①新規プロジェクトの数 ②-1 製造設備を拡充した事業者数 ②-2 新たな販売戦略を作成した事業者数	①ヒヤリングによるカウント ②-1 ヒヤリングによるカウント ②-2 ヒヤリングによるカウント	① 2事業所 ②-1 2事業所 ②-2 2事業所	①2022年11月 ②-1 2022年11月 ②-2 2022年11月
③業態転換が検討され、準備ができている ④障害のある人のアートを活用し、商品化している ⑤利用者がやりがいをもって意欲的に就労している	③業態転換の準備ができた事業者数 ④アートを活かした作品数 ⑤利用者から寄せられた感想	③ヒヤリングによるカウント ④ヒヤリングによるカウント ⑤利用者へのヒヤリングとアンケート	③ 2事業所 ④ 2事業所 ⑤ 50件	③2022年11月 ④2022年11月 ⑤2022年11月

(5) 事業実施後（1年後）以降に目標とする状態
新規プロジェクト立ち上げや業態転換により、利用者が意欲をもって働くことができ、売り上げが増加することで、工賃が増えている。

入力数 61 字

#### IV. 実行団体の募集

(1) 採択予定実行団体数	10団体	(2) 1 実行団体当たり助成金額	1000万 2団体、500万 5団体、300万 3団体)
(3) 申請数確保に向けた工夫	2020年度緊急助成において実施したアンケート調査先（150事業所）、ワークショップ参加者（延べ285事業所）に案内する。 たんぼぼメールニュース2500人、JACEVOメルマガ4500人、市民協メルマガ1000人に配信する。好事例のセミナーを開催する。		
(4) 予定する審査方法 (審査スケジュール、審査構成、留意点等)	審査委員は6名とする。[REDACTED]。本事業の終了が2022年3月末であることを鑑み構成団体JACEVOの資金分配団体としての実績を活かし、契約成立後公募を迅速に行う。2月下旬 公募開始（公募要項等公開）、2月下旬から3月上旬説明会、相談会、好事例のセミナー開催、3月中旬公募締切、3月中旬から3月下旬 審査期間（書類審査、プレゼンテーション3月下旬審査結果公表、申請数が多い場合は、1次審査は書類審査、2次審査はプレゼンテーション審査とする。		

## V.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	PO ( )、事業統括責任者 ( )、会計担当者 ( )
(2)他団体との連携体制	認定特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会 (広報)、きょうされん (広報)
(3)想定されるリスクと管理体制	コロナウイルス感染拡大の第6波も想定されるので、実行団体と密に連絡を取り、感染対策を取りながら実施していく。オンラインや電話を活用する。具体的には、対面が必要な場合は健康チェックカードによる職員、及び実行団体、サービス利用者の体調管理。手指消毒、マスク着用の徹底。感染対策専門家と相談をしながら事業を推進する。会計に関しては外部に本プロジェクトの監査を委託しダブル監査体制とする。

## VI.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無				
①コロナウイルス感染症に係る事業				
本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金 (ふるさと納税を財源とする資金提供を含む)を受けていない。	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります (公募要領:助成方針参照)		
本申請事業以外の事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
②-1その他、助成金等の分配の実績				
構成団体 公益社団法人日本サードセクター経営者協会 2010年～2011年、内閣府地域社会雇用創造事業 起業支援金交付 147社 (交付額:263,000,000円)、2012年 復興支援型内閣府地域社会雇用創造事業 63社(交付額:157,500,000円) 2020年 休眠預金 新型コロナウイルス対応支援助成事業 12社 (交付額25,500,000円)				
②-2前年度に助成した団体数	12団体		②-3前年度の助成総額	2550万
(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等の実績				
2014年～2021年 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業 近畿および奈良県の支援センター 2017年～2019年 日本財団 デジタル技術を活用した障害者のクリエイティブな仕事づくりの開発 2020年～2021年 休眠預金 新型コロナウイルス対応支援助成事業 実行団体「コロナ禍を契機とした障害のある人との新しい仕事づくり」の調査分析および発信				